

Job

Chapter 19

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיֹּאמֶר׃ אֵיבֹב וַיַּעַן 1
そして-言った ヨブ-は そして-答えた
[H0559](#) [H0347](#)

そこでヨブは答えて言った、

וַתִּדְבַּר אֲוִינִי וְתִדְבַּר אֵלַי׃ וְתִדְבַּר אֵלַי׃ 2
言葉-で そして-砕くのか-わたし-を わたしの-魂-を 苦しめるのか あなたがたは いつ-まで
[H4405](#) [H1792](#) [H5315](#) [H3013](#) [H0575](#) [H5704](#)

「あなたがたはいつまでわたしを悩まし、言葉をもってわたしを打ち砕くのか。

זֶה עֵשֶׂר פְּעָמִים תִּכְלִימוּנִי לֹא תִבְשֵׁי וְתִדְבְּרוּ לִי׃ 3
わたし-に 冷たく-した 恥じ ない-のか 辱めた-わたし-を 回-も 十 これ-で
[H1970](#) [H0954](#) [H3808](#) [H3637](#) [H6471](#) [H6235](#) [H2088](#)

あなたがたはすでに十度もわたしをはずかしめ、わたしを悪くあしらってもなお恥じないのか。

וְאֵיךְ אֲמַנֶּם וְאֵיךְ אֲמַנֶּם׃ 4
とどまる わたし-の-もとに わたし-が-過った-として 確かに そして-たとえ-本当に
[H0854](#) [H7686](#) [H0551](#) [H0637](#)

מִשׁוֹנְתֵי׃
わたしの-過ち-は
[H4879](#)

たといわたしが、まことにあやまったとしても、そのあやまちは、わたし自身にとどまる。

אִם אֲמַנֶּם אֲמַנֶּם׃ 5
わたし-に-対して そして-論じるなら 高ぶるなら わたし-に-対して 本当に もし
[H3198](#) [H1431](#) [H0551](#)

תִּדְבַּרְתִּי׃
わたしの-恥辱-を
[H2781](#)

もしあなたがたが、まことにわたしに向かって高ぶり、わたしの恥を論じるならば、

עָלִי וְמִצְוֹדוֹ עֲתָנִי אֱלֹהֵי כִי אֲפֹךְ דַּעוֹן׃ 6
わたし-の-上に そして-その-網-を 曲げた-わたし-を 神-が まことに それなら 知りなさい
[H5791](#) [H0433](#) [H0645](#) [H3045](#)

תִּקְוֶיךָ׃
巡らした

『神がわたしをしえたげ、その網でわたしを囲まれたのだ』と知るべきだ。

וַאֲנִי אֲשׁוּעַ אַעֲנֶה וְלֹא חָמַס אֶצְעַק הֵן 7
 見よ 見よ 見よ
 70369 7768 3808 2555 6817 2005

מִשְׁפָּט:
 公正-は
 4941

見よ、わたしが『暴虐』と叫んでも答えられず、助けを呼び求めても、さばきはない。

: יָשִׁים תִּשָּׂךְ נְתִיבוֹתַי וְעַל אֶעְבּוֹר וְלֹא גִדְרָה אֶרְתִּי 8
 置いた 闇-を わたしの-小道-に そして-上-に 通れ-ない そして-ない 塞いだ わたしの-道-を
 2822 3808 1443 0734

彼はわたしの道にかきめぐるして、越えることのできないようにし、わたしの行く道に暗やみを置かれた。

: רֵאשִׁי עֲטֹרַת וְיִסְרַת הַפְּשִׁיט מֵעָלַי כְּבוֹדִי 9
 わたしの-頭-の 冠-を そして-取り去った 剥ぎ取った わたし-から わたしの-栄光-を
 5850 5493 6584 3519

彼はわたしの栄えをわたしからはぎ取り、わたしのこうべから冠を奪い、

כְּעֵץ וַיִּסַּע וְאֶלֶף וְסָבִיב יַתְצַנֵּי 10
 木-の-ように そして-引き抜いた そして-わたし-は-去る 四方-から 打ち壊した-わたし-を
 6086 2865 3212 5439 5422

תִּקְוָתִי:
 わたしの-望み-を

四方からわたしを取りこわして、うせさせ、わたしの望みを木のように抜き去り、

לִי וַיִּחַשְׁבֵנִי אַפּוֹ עָלַי וַיִּחַר 11
 ご自分-にとって そして-みなした-わたし-を その-怒り-は わたし-に-対して そして-燃えた
 2803 0639 2734

כַּצָּרִי:
 敵-の-ように

わたしに向かって怒りを燃やし、わたしを敵のひとりのように思われた。

וַיִּחַנּוּ וַיִּרְכָּם עָלַי וַיִּסְלֹו גְדוּדָיו וַיָּבֹאוּ וַיַּחַד 12
 そして-陣を張った その-道-を わたし-に-対して そして-築いた その-軍勢-が 来た 共に
 2583 1870 5549 1416 0935

לְאַהֲלֵי: סָבִיב
 わたしの-天幕-の 周り-に
 0168 5439

その軍勢がいっせいに来て、壘を築いて攻め寄せ、わたしの天幕のまわりに陣を張った。

זָרוּ אֶדְ-יֹדְעֵי הַתְּרִיק מֵעָלַי אֲחֵי 13
 疎遠-に-なった まったく そして-わたしの-知人-たちは 遠ざけた わたし-から わたしの-兄弟-を
 0389 3045 7368 0251

מִמֶּנִּי:
 わたし-から

彼はわたしの兄弟たちをわたしから遠く離れさせられた。わたしを知る人々は全くわたしに疎遠になった。

שָׁכַחְוִי: וּמֵי־עַי קְרוּבֵי חָדְלוּ 14
 忘れた-わたし-を そして-わたしの-親しい-者-たちは わたしの-親族-は 去った
[H7911](#) [H3045](#) [H7138](#) [H2308](#)

わたしの親類および親しい友はわたしを見捨て、

נָכְרִי תַחֲשַׁבְנִי לְזָר וְאִמָּהוּתִי בֵּיתִי גֵרִי 15
 異国人-と みなす-わたし-を 他人-と そして-わたしの-女-奴隷-たちは わたしの-家-の 寄留者-は
[H5237](#) [H2803](#) [H0519](#)

בְּעֵינֵיהֶם: הָיִיתִי
 彼女-たちの-目-に なった-わたし-は
[H1961](#)

わたしの家に宿る者はわたしを忘れ、わたしのはしためらはわたしを他人のように思い、わたしは彼らの目に他国人となった。

לּוֹ: אֶתְחַנֵּן-פִּי בְּמִוֶּ-יַעֲנֶה וְלֹא קָרָאתִי לְעַבְדִּי 16
 彼-に 懇願した 自ら わたしの-口-で 答え-ない しかし-ない 呼びかけた わたしの-僕-に
[H6310](#) [H1119](#) [H3808](#) [H7121](#) [H5650](#)

わたしがしもべを呼んでも、彼は答えず、わたしは口をもって彼に請わなければならない。

בְּטֶנִי: לְבָנִי יְחַנְתִּי לְאִשְׁתִּי זָרָה רִוְחִי 17
 わたしの-母-の-胎-の 子ら-に そして-わたしの-嘆き-は わたしの-妻-に 嫌われた わたしの-息-は
[H0990](#) [H0802](#) [H7307](#)

わたしの息はわが妻にいとわれ、わたしは同じ腹の子たちにきらわれる。

וַיְדַבְּרוּ- אֶקְוֶה בִּי מֵאֲסוּ עוֹיְלִים גַּם- 18
 そして-語った わたし-が-立ち上がると わたし-を 蔑んだ 幼い-者-たち-が さえ-も
[H1696](#) [H5759](#) [H1571](#)

בִּי:
 わたし-に-対して

わらべたちさえもわたしを侮り、わたしが起き上がれば、わたしをあざける。

וְזֶה- סוּרֵי מְתֵי כָּל- תַּעֲבוּנִי 19
 そして-この わたしの-親しい-仲間-の 人々-は すべて-の 忌み嫌った-わたし-を
[H2088](#) [H5475](#) [H4962](#) [H3605](#) [H8581](#)

בִּי: נִהְפְּכוּ- אֹהְבֵי
 わたし-に 背いた わたし-が-愛した-者-たちは
[H2015](#) [H0157](#)

親しい人々は皆わたしをいみきらい、わたしの愛した人々はわたしにそむいた。

וְאֶתְמַלְטָה עֲצָמֵי דְבַקָּה וּבְבֶשֶׂרִי בְּעוֹרִי 20
 そして-わたし-は-逃れた わたしの-骨-は しがみつく そして-わたしの-肉-に わたしの-皮膚-に
[H4422](#) [H6106](#) [H1692](#) [H1320](#) [H5785](#)

שָׁנִי: בְּעוֹר
 わたしの-歯-の 皮-だけ-で
[H8127](#) [H5785](#)

わたしの骨は皮と肉につき、わたしはわずかに歯の皮をもつてのがれた。

נִנְעָה אֱלֹהֵי יָד־ כִּי רַעִי אַתֶּם חַנּוּנִי חַנּוּנִי 21
 打った 神-の 手-が なぜなら わたし-の-友-よ あなたがた 憐れんでください 憐れんでください
[H5060](#) [H0433](#) [H3027](#) [H7453](#)

כִּי:
 わたし-を

わが友よ、わたしをあわれめ、わたしをあわれめ、神のみ手がわたしを打ったからである。

לָמָּה תִּדְרֹפְנִי כְּמוֹ- אֵל וּמִבְשָׂרִי לֹא תִשְׂבְּעוּ:
 なぜ 追い回すのか-わたし-を のように 神-の そして-わたしの-肉-で ない 満足するの
[H4100](#) [H7291](#) [H3644](#) [H0410](#) [H1320](#) [H3808](#) [H7646](#)

あなたがたは、なにゆえ神のようにわたしを責め、わたしの肉をもって満足しないのか。

מִי- יִתֵּן אִפּוֹ וַיִּכְתְּבוּן מִלִּי מִי- יִתֵּן 23
 ああ 与えられるなら どうか そして-書き記されるなら わたし-の-言葉-が ああ 与えられるなら ああ
[H4310](#) [H5414](#) [H0645](#) [H3789](#) [H4405](#) [H4310](#) [H5414](#) [H4310](#)

וַיִּחַקוּ:
 そして-刻まれるなら 書物-に
[H2710](#)

どうか、わたしの言葉が、書きとめられるように。どうか、わたしの言葉が、書物にしるされるように。

בַּעֲטַר- בְּרִזְלָה וְעִפְרַת לְעֵד בַּצּוּר יִחַצְבוּן:
 鉄-の 筆-と 鉛-で 永遠-に 岩-に 刻み込まれるなら
[H5842](#) [H1270](#) [H5777](#) [H5703](#) [H6697](#) [H2672](#)

鉄の筆と鉛とをもって、ながく岩に刻みつけられるように。

וְאֲנִי יָדַעְתִּי וְאַלִּי חִי וְאַחֲרוֹן עַל- עָפָר 25
 そして-わたし-は 知っている わたし-の-贖い主-は 生きている そして-最後-に 上-に 塵-の
[H0589](#) [H3045](#) [H0314](#) [H6083](#)

יָקוּם:
 立たれる

わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる、後の日に彼は必ず地の上に立たれる。

וְאַחַר עוֹרִי נִקְפוּ- זֹאת וּמִבְשָׂרִי 26
 そして-後に わたし-の-皮膚-が 打ち壊された この-後に そして-わたしの-肉体-から
[H2372](#) [H5785](#) [H2063](#) [H1320](#)

אֶחָזָה אֶלֹהֵי:
 わたし-は-仰ぎ見る 神-を
[H2372](#) [H0433](#)

わたしの皮がこのように滅ぼされたのち、わたしは肉を離れて神を見るであろう。

אֲשֶׁר וְאֲנִי אֶחָזָה- לִי וְעֵינַי רָאִי וְלֹא- 27
 その-方-を わたし-は 仰ぎ見る わたし-のために そして-わたしの-目-が 見た そして-ない
[H0589](#) [H2372](#) [H7200](#) [H3808](#)

זָר כָּלוּ כְּלִיָּתִי בְּחֻקֵּי:
 他人-の-目-では-なく 衰え果てた わたし-の内臓-は わたし-の-胸-の-中-で
[H3615](#) [H3629](#) [H2436](#)

しかもわたしの味方として見るであろう。わたしの見る者はこれ以外のものではない。わたしの心はこれを望んでこがれる。

נמצא	דבר	ושלש	לו	נרדף	מה	תאמרו	כי	28
見つけた	事-の	そして-根	彼-を	追い詰めよう	何-を	あなたがた-が-言うなら	なぜなら	
H4672	H1697	H8328		H7291	H4100	H0559		

כי
わたし-に

あなたがたがもし『われわれはどうして彼を責めようか』と言い、また『事の根源は彼のうちに見いだされる』と言うならば、

למען	חרב	עונות	קמה	כי	חרב	מפני	אלכם	גורו	29
ために	剣-の	不義-に-対する	怒り-は	なぜなら	剣-の	前-から	あなたがた-自身	恐れなさい	
H4616	H2719	H5771	H2534		H2719	H6440			

ס) :שדיון	שדיון	תדעו
セラ	(裁き-を)	裁き-を	あなたがたが-知る
	H1779	H1779	H3045

つるぎを恐れよ、怒りはつるぎの罰をきたらすからだ。これによって、あなたがたは、さばきのあることを知るであろう」。